

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 入札監視委員会

平成 29 年度 議事概要

中間貯蔵・環境安全事業株式会社（以下「JESCO」という。）入札監視委員会の平成 29 年度委員会が、平成 29 年 12 月 25 日、JESCO 本社において開催されました。議事の概要についてお知らせ致します。

開催日及び場所	平成 29 年 12 月 25 日(月) JESCO本社 A会議室			
委員	委員長 小林 光 （慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授） 委 員 橋詰 博樹 （多摩大学グローバルスタディーズ学部教授） 委 員 奥 真美 （首都大学東京都市教養学部都市政策コース教授）			
審議対象期間	平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日			
抽出案件	工事(PCB処理事業) 計26件		業務(PCB処理事業・中間貯蔵事業) 計77件(32件) ※カッコ内はうち中間貯蔵事業案件	
	H28(下期)	H29(上期)	H28(下期)	H29(上期)
一般競争	2	1	3(2)	21(14)
指名競争	0	0	0	0
随意契約	10	13	12(1)	41(15)
委員からの意見・質問 及び回答	意見・質問		回答	
	【別紙】のとおり			
委員会による意見の具 申又は勧告の内容	<u>意見の具申又は勧告はなし</u> ただし、各委員から意見のあった以下の点について、今後の業務の改善に役立てること。 1 随意契約理由においては、特殊性という一言で済ませるのではなく、具体的にどう特殊か、なぜ設備を製造した者にその後も製造責任を負わせなければいけないのかなどについて、一般にもわかるように丁寧に説明する工夫が必要。 2 今回の審議案件のように技術や創意工夫など受注者の技量が求められる案件			

	<p>では、難度が高いため一者応札になりやすいが、複数の者による提案がないと質の確保が難しい。このため、説明会を開催して求める成果や課題を丁寧に説明するなど、手続の改善を検討すること。</p> <p>3 低入札の案件については、契約当事者としてできる限り状況を分析・把握する努力の積み重ねと、それを第三者に対して説明する工夫が必要である。</p>
--	---

【別紙】委員からの意見及び回答

意見・質問	回 答
<p>【PCB処理事業】随意契約</p> <p>①H29 豊田前処理設備点検及び経年劣化対応工事・後期（点検・工事）</p> <p>○ 具体的に、随契理由となる技術的な部分の特殊性について説明していただきたい。一般の人にもわかるように説明を工夫する必要があるのではないか。</p> <p>○ 随契で発注することにより、競争による発注にはない利点、例えば経年で比較した改善点やトライ・アンド・エラーを進めたうえでの改善点が説明できると、全体の仕組みとして適切になっていることがわかるのではないかと。全体として質を確保できるような工夫の余地がまだあるのではないかと。それが結果的によりよい契</p>	<p>○ 前処理、真空超音波洗浄、液処理の方法も、各 PCB 処理事業所によって異なり、例えば液処理でも、使用する SD 剤の油の中に含まれる割合や、温度の上げ方がそれぞれ異なっている。真空加熱分離装置においても、温度及び圧力条件が違うものが設置されており、豊田の設備については、豊田に納めた者でなければ、点検ができない。</p> <p>PCB 処理技術は、これまで世界に類がなく、トライ・アンド・エラーを繰り返しながら改善し、その経験、知見を貯めているようなもので、設置した者に責任を持たせるしかない。第三者に読んでいただいても理解がなされるような随契理由を書くということが、まだできていなかった。</p> <p>○ 今日いただいたご意見を踏まえて、もう少し深掘りをして説明できる体制にしていきたい。</p>

約につながっていくのではないか。

【中間貯蔵事業】一般競争入札(総合評価)

②総合管理システムに係る機能追加等支援業務 (平成 29 年度)

- 一者応札を避けるための工夫として、参加者の見込みを把握する意味でも、事前に説明会を開催するのが、最近よく見られるやり方だが、説明会は開催されていないのか。この仕様書では、過去に当該業務の請負実績がある者はわかるが、他の者はわからない部分があると思われるので、説明会を開催して丁寧に説明し、できるだけ参加者をふやそうという努力をする必要がある。また、説明会を開催すれば、説明会には数者参加したが、最終的に 1 者応札となった場合に、後で理由を探ることもできる。手続の面でまだ改善の余地があるのではないか。
- 価格競争だけにはなじまない総合評価で発注するような案件については、質の確保が肝である。価格に見合った業務になっているか質の確保を証明するのは難しいことから、複数者の競争で比較検討することが必要である。この種の業務で総合評価の一般競争をするのなら、参加者が 1 者では延期した方が良いのではないか。

【中間貯蔵事業】一般競争入札

③中間貯蔵施設整備事業土壌汚染状況調査業務 (平成 29 年度)

- ヒアリングの結果を見ると、「土壌分析」がほぼ半額以下、「土壌試料採取孔埋戻し」、「土壌試料保管」、「放射線管理」はゼロになっているが大丈夫なのか。

- 平成 27 年度にシステムを構築したときには、意見招請をしたり、各者の技術提案をしてもらって一般競争を実施したが、この業務について説明会はしていない。

- 中間貯蔵事業は、1 者応札であるからといって、延期することは難しい。総合評価とか企画競争は説明会で広く説明をするような場を積極的に設けていきたい。

- 「埋戻し」は、試料採取に含めているということで、実施はするが、別立てにしていない。「放射線管理」は現場責任者が放射線管理の業務を兼ねることを確認した。「土壌分析」の実態としては、分析費自体がか

<p>○ 低価格で落札したが、業務について問題ないということだが、本当にブラックになっていないか。</p> <p>○ 低入札になった業者の積算が正しいとすれば、予定価格が過大だったのではないか。</p>	<p>なり安くなってきており、我々は物価本で積算しているが、実勢は半分以下である。</p> <p>○ ヒアリングを実施したが、時間外労働については、労使で協定を結んで、基準監督署のほうに届け出て、それに基づいて適正にやっているということを確認し、特殊勤務手当についても、受注者だけでなく下請にも確認した。</p> <p>一方で、予定価格が高過ぎるのではないかという疑義については、年度当初は手持ちの仕事がないので、社員を仕事もなく遊ばせておくよりは仕事はとったほうがいいということで、採算ぎりぎりの線で提示しているということ、中間貯蔵事業というのは震災復興の意味合いがあって、会社としても社会貢献の意味合いがあるので、単純なもうけ仕事ではないというような会社としての理解もしているという話もあった。予定価格を下げればいいのかという議論もあるが、会計検査院では、積算の根拠とか諸経費率の根拠を必ず求められる。来年に向けて分析業者に直接聞くなど実態を見きわめて検討していきたい。</p>
---	---

【議事概要参考】

中間貯蔵・環境安全事業株式会社入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成１２年法律第１２７号）の趣旨を踏まえ設置された第三者機関です。

同委員会の主な任務は、以下のとおりです。

- ① J E S C Oが発注した工事等に関し、入札・契約手続の運用状況について報告を受けること。
- ② 当該工事等の中から委員会が抽出したものについて、一般競争参加資格の設定の理由及び経緯並びに指名競争入札に係る指名の理由及び経過等について審議し、不適切な点又は改善すべき点があると認めた場合に、J E S C Oに対して意見の具申又は勧告を行うこと。
- ③ 公募型及び通常指名競争入札並びに随意契約における入札・契約手続に係る再苦情処理を行うこと。

【問合せ先】

東京都港区芝一丁目７番１７号 住友不動産芝ビル３号館４Ｆ

中間貯蔵・環境安全事業株式会社

管理部入札監視委員会事務局 契約・購買課